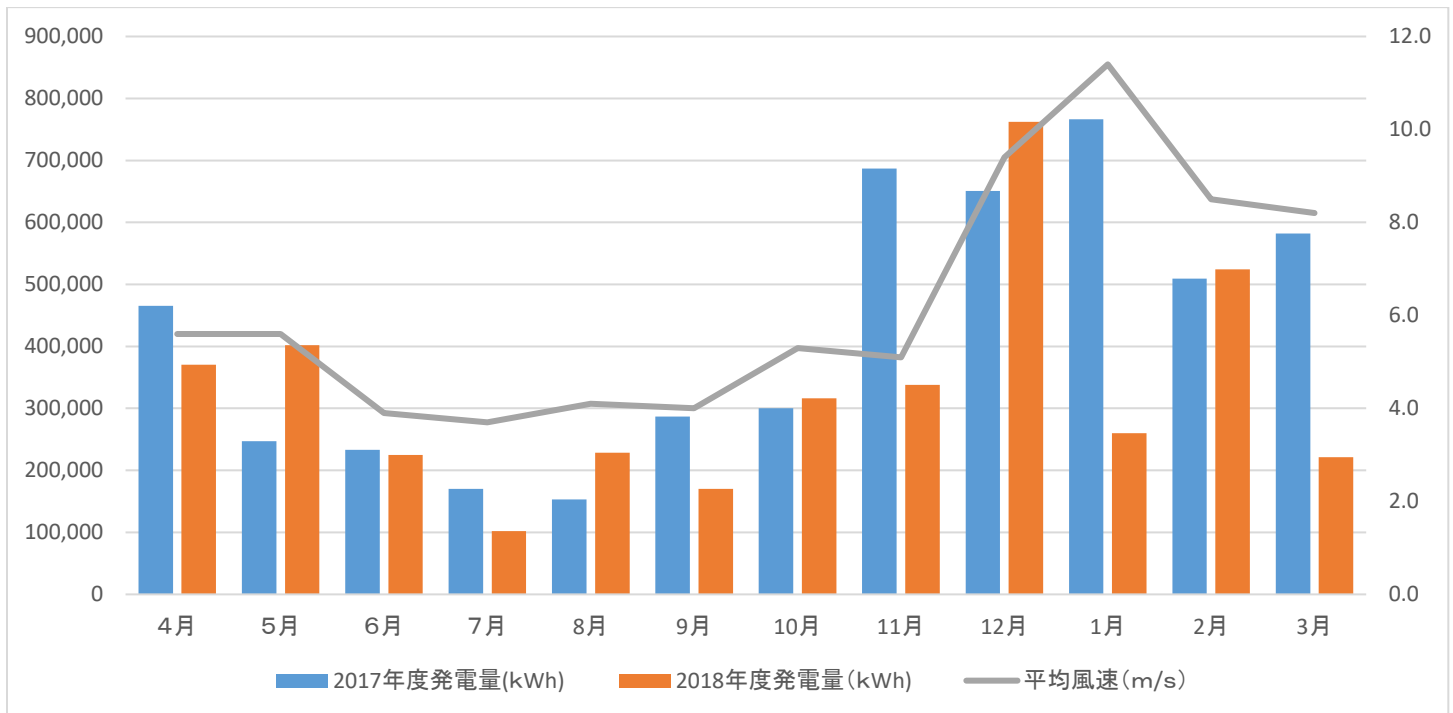


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

○ 発電実績



3月度運転状況について

- 風況は前年に比べて0.5m/s 高い実績となりました。
- 3/1より再度の保安停止を行いました。
部品交換工事を行い、3/22より再稼働しました。
- そのため、発電量は前年比38.0%、稼働率は前年比30.5%となりました。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	370,505	5.6	96.6
5月	402,151	5.6	92.3
6月	224,714	3.9	98.4
7月	102,149	3.7	76.2
8月	228,380	4.1	96.9
9月	170,112	4.0	96.8
10月	316,349	5.3	94.4
11月	337,943	5.1	99.9
12月	762,460	9.4	97.1
1月	260,072	11.4	24.3
2月	524,081	8.5	83.4
3月	221,159	8.2	30.2

にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会報告



共同代表の半澤彰浩生活クラブ神奈川専務理事と本田雅之にかほ市副市長

2019年4月12日、2018年度第3回の連携推進協議会幹事会をにかほ市で開催しました。

にかほ市の企画調整部長佐藤次博監事が退任され、今回、佐々木俊哉部長が後任につかれました。

まず、共同代表である、にかほ市の本田雅之副市長よりご挨拶を頂きました。

幹事会の主な議案は、生活クラブ風車の稼働状況報告、2018年度活動のまとめと2019年度活動方針案、組合員リーダーツアー実施計画案、にかほの物産取り組み報告、「にかほ市自然エネルギーによるまちづくり基金条例」事業報告、ゾーニング事業調査報告、です。

2018年度、生活クラブ風車夢風の発電実績は、3,920,075kWh、計画比82.9%となりました。発電量が下がった要因は、増速機の部品に軽度な損傷を認め、部品交換までの間、50日間保安停止をしたことが主です。

「まちづくり基金条例」事業報告では、基金による事業の報告と、今後の基金の活用についての意見交換を行いました。

「まちづくり基金条例」事業報告では、基金による事業の報告と、今後の基金の活用についての意見交換を行いました。



左から、本田雅之副市長、佐々木俊哉企画調整部長、土門保農林水産部長、佐藤豊弘商工観光部長、佐藤喜仁まちづくり推進課長、高橋潔まちづくり推進課

夢風ブランド開発生産者連絡会報告

2019年4月12日、にかほ市観光拠点センター「にかほっと」にて、第2回夢風ブランド開発生産者連絡会を開催しました。この生産者連絡会は、にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会のもとに、2014年7月に設立され、生活クラブとの夢風ブランド品の開発に取り組み、にかほ市の物産の取り組み、デポーにかほフェアや交流企画への参加などをすすめています。

初めに、三浦米太郎商店の三浦悦朗会長よりご挨拶を頂きました。

主な議案は、2月に行ったデポーにかほフェアの総括、物産取り組みに対する今後の対策の検討、芹田営農組合による加工用トマト栽培の休止報告、2018年度生産者連絡会の中間まとめと2019年度活動方針案、2019年度生活クラブ組合員リーダーツアーへの要請事項等です。

また、昨年11月から、佐賀正文さんが、にかほ市観光開発㈱「道の駅象潟ねむの丘」の支配人となったことから、今回より新たに会議メンバーとなりました。

生活クラブ風車「夢風」を視察しました

にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会の生活クラブの幹事と監事が、「夢風」を視察しました。

4/12は、良く晴て、風車サイトからは、雪の残る鳥海山や海に浮かぶ男鹿半島がくっきりと見えました。

風車もにかほの風を受け元気に発電していました。



左から、生活クラブ埼玉活動推進部長浅田信隆、生活クラブ東京常勤理事大石冬刀、生活クラブ神奈川専務理事半澤彰浩、生活クラブ神奈川常勤理事岡田一弘、生活クラブ千葉常勤理事山崎倫一

長期エネルギー戦略政府案へのパブリックコメントがはじまります

パリ協定に基づく2050年に向けた長期CO₂削減戦略の政府案の策定が進められています。パリ協定では、世界全体の平均気温の上昇を2℃以下に抑えると共に、1.5℃未満とする努力を継続すること、そのために今世紀後半にはCO₂排出量を実質ゼロに抑えることを目指しています。

政府案の基となる「長期戦略策定に向けた懇談会」の提言が4/2に出されました。この中で、2050年の長期削減目標は80%としていますが、2030年目標は26%と低いまま変更されていません。2030年の目標を上げずに、「非連続なイノベーション」を実現させるとしていますが、これは現実的ではありません。CO₂削減の対策としては、まず、再生可能エネルギーの導入目標を引き上げるべきです。

また、石炭火力発電はCO₂を一番排出する電源です。提言では、「石炭火力への依存度を可能な限り引き下げる」と弱腰ですが、他の先進国と同様に石炭火力発電はフェーズアウトすべきです。

政府は、6月に大阪で開催するG20に向けて、長期戦略の策定を急いでおり、4/23閣議決定、4/24から約1カ月間のパブリックコメントを行う予定です。是非、多くの意見をお願いいたします。

風車 Q&A

Q: 風車の設備利用率って何？

A: よく働く風車の基準に設備利用率があります。

風を利用する風車が良く働く風車かどうかを判定する基準に「設備利用率」があります。

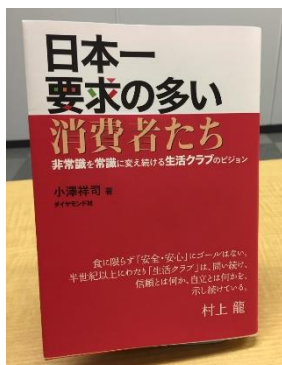
その定義は、風力発電装置がある期間にフル発電能力(定格出力)で発電した時の出力に対する、その期間の実際の発電量の比率を言います。

年間設備利用率 : $\text{年間発電量} \div (\text{定格出力} \times 365 \text{日} \times 24 \text{時間}) \times 100$

一般的には、設備利用率が少なくとも22%以上、25%以上が望ましい事業採算とされています。

生活クラブ風車「夢風」の2012年3月から6年間の平均実績は、設備利用率27.2%となっています。

information



「日本一要求の多い消費者たち～非常識を常識に変え続ける生活クラブのビジョン」

著者:小澤祥司 発行所:ダイヤモンド社

第6章 ここから新常識がはじまる-エネルギーと地域福祉がつくる持続可能な社会- に、生活クラブ風車「夢風」の取り組みが掲載されました。

ご覧いただければ幸いです。